

社団法人環境科学会 2007 年会
一般講演・シンポジウム・ポスターセッション
プログラム

社団法人 環境科学会

社団法人環境科学会 2007 年会

日 時：2007 年 9 月 10 日（月）～9 月 11 日（火）

会 場：長崎大学 総合教育研究棟（文教キャンパス北 12F 建物）

住 所：〒 852-8521 長崎市文教町 1-14

交 通：長崎電鉄 長崎大学前下車（徒歩 5 分）あるいは空港から昭和町経由の空港バスにて昭和町下車徒歩 5 分（出島バイパス経由だと長崎駅に到着後、路面電車に乗り、長崎大学前下車）

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/guidance/access.html>

参加費：会員 6,000 円 準会員 3,000 円 非会員 9,000 円 非会員学生 5,000 円（講演要旨集代を含む）

懇親会：9 月 10 日（月）18：00～20：00

場 所：長崎大学生協同組合食堂 2F（文教キャンパスの食堂は 1 か所です）

参加費：5,000 円（社会人）、3,000 円（学生）

お問い合わせ先：

2007 年会実行委員会

実行委員長 早瀬 隆司（はやせ たかし） 長崎大学環境科学部・教授（環境政策）

事務局 姫野 順一（ひめの じゅんいち）長崎大学環境科学部・教授（環境経済学）

〒 852-8521 長崎市文教町 1-14

E-mail: himeno@nagasaki-u.ac.jp Tel & Fax: 095-819-2722

（お問い合わせはなるべく電子メールでお願いいたします）

環境科学会事務局 〒 305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6 つくば研究支援センター C-A-7

E-mail: jdz07103@nifty.ne.jp TEL & FAX：029-858-6120

（お問い合わせはなるべく電子メールでお願いいたします）

** 環境科学会に参加登録された方は、9 月 9 日（日）の午後 2：00～5：00 にブリックホール国際会議場に開催される『長崎大学環境科学部創設 10 周年市民公開講演会』に参加できます。

9 月 9 日（日）長崎大学環境科学部創設 10 周年記念講演会

主催 長崎大学環境科学部・社団法人環境科学会

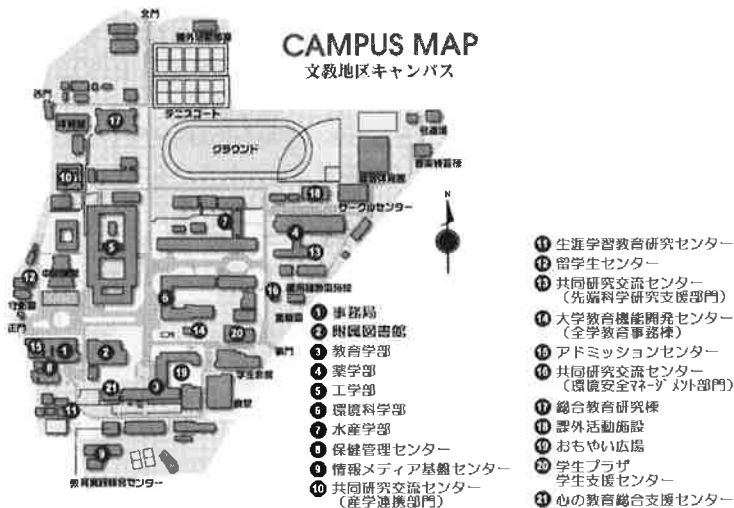
場所 ブリックホール国際会議場 午後 2：00～5：00

〒 852-8104 長崎市茂里町 2-38

TEL.095-842-2002 FAX.095-842-2330

講演 鈴木基之（社団法人環境科学会会長・中央環境審議会会長）

「パラダイムの変化－都市から地方へ」



発表者の方々へ

1. 参加登録：

一般講演、シンポジウムならびにポスターのいずれの発表に関しても、発表者は必ず参加登録をしてください。

2. 発表時間：

一般講演： 15分（発表10分、質疑応答及び入れ替え5分）

シンポジウム：主催者の方針によって異なりますので、主催者にお問い合わせください。

ポスター： 掲示可能期間：9月10日（月）9：00～9月11日（火）15：00

セッション： 9月10日（月）12：00～13：00および9月11日（火）12：00～13：30

（ポスターセッションの時間には、発表者はポスター会場にお立ちください。）

3. 発表方法：

一般講演：

- ・PC プロジェクタとパソコン（Windows）を用意いたします。
- ・今回は原則としてOHPは用意いたしません。
- ・持参のパソコンの接続は、時間の関係でできません。必ずファイルを媒体に入れてご持参下さい。
- ・媒体は、CD-R、USBメモリのいずれかとします。
- ・ソフトはPowerPoint2003/2001のみとします。
- ・PowerPoint2003/2001のファイル名には、必ず発表者の氏名を含めてください。
- ・各セッション開始の遅くとも15分前までに会場係に媒体をお渡しください。
- ・パソコンへのデータインストールは会場係がお手伝いしますが、発表時のパソコンの操作は各自で行っていただきます。

シンポジウム：

- ・PC プロジェクタとパソコン（Windows）を用意いたします。
- ・持参のパソコンの接続については、オーガナイザーとご相談下さい。
- ・媒体、ソフトについては、一般講演と同様です。
- ・その他の機器が使われる場合は、オーガナイザーにお問い合わせください。

ポスター：

- ・9月10日（月）の11：30までに所定の場所に掲示して下さい。掲示は8：30から行うことができます。
- ・掲示に必要な画鋏等は事務局で用意いたします。
- ・パネルのサイズは横80cm×縦110cm程度です。
- ・パソコンのデモや配布物用に、机や電源などの掲示板以外の設備が必要な場合は、必ず事前に実行委員会あてにメールでお問い合わせください。なお、ご希望に沿えない場合もありますので、ご了承下さい。
- ・9月11日（火）の15：00までに各自で撤去してください。撤去作業は11日の13：30以降にお願いいたします。
- ・掲示や撤去が規定の時間内に困難な方は、あらかじめ実行委員会にお知らせいただければ、作業の代行をいたします。掲示の代行の場合に、ポスターが複数枚に分かれている場合は、掲示のレイアウトを図示した略図を添付して下さい。撤去したポスターの郵送もいたしますが、封筒と切手は各自でご用意下さい。版の大きなポスターの場合には、郵送用の筒などを各自ご用意の上、会場へご持参下さい。また撤去作業と郵送途中での破損等については、実行委員会では責任を負いかねますので、ご了解をお願いいたします。

社団法人環境科学会 2007 年会 プログラム構成

	A 会場 (2F 多目的ホール)	B 会場 (207 番教室)	C 会場 (208 番教室)	D 会場 (3F 大講義室)	ポスター会場 (1F ホール)	
9 月 10 日 (月)	シンポジウム1 (9:30-12:00) 学術賞受賞記念 講演 (原科幸彦)	環境リスク 一般講演 (9:30-11:45)	環境動態 一般講演 (9:30-11:30) 論文賞 受賞記念講演 (手口直美・神子尚子・ 吉田喜久雄) (11:30-12:00)	地球環境問題 ・国際関係 一般講演 (9:30-11:30) 論文賞 受賞記念講演 (中野牧子, 馬奈木俊介) (11:30-12:00)	ポスター発表者は 1日目の11時30分 までにポスターを 掲示してください。	
	ポスターセッション (12:00-13:00)					
	環境情報 一般講演 (13:00-14:00)	市民活動 一般講演 (13:00-14:00)	シンポジウム2 大学院改組と環境冠大 学院のリストラクチュ アリング (13:00-15:00)	シンポジウム3 合理的な不法投棄廃棄 物処理のための政策的 仕組み (13:00-15:00)		
	総会・表彰式 (2F 多目的ホール) (15:00-16:00)					
	学会賞受賞記念講演 (安井至)「鳥瞰型環境学の実践と環境のステージ」(2F 多目的ホール) (16:10-16:40)					
	特別講演 (齊藤寛長崎大学・学長)「環境中のカドミウムと人の健康」(2F 多目的ホール) (16:40-17:10)					
	環境省の研究費紹介 (2F 多目的ホール) (17:10-17:30)					
	懇親会 (長崎大学生生活協同組合食堂 2F) (18:00-20:00)					
	9 月 11 日 (火)	シンポジウム4 (9:00-12:00) 学術賞受賞記念 講演 (佐藤洋)	生態系保全 一般講演 (9:00-10:15) 奨励賞 受賞記念講演 (関雅範) (10:15-10:45)	環境計画・評価 一般講演 (9:00-11:00)	廃棄物・リサイクル 一般講演 (9:00-10:45) 奨励賞 受賞記念講演 (毛利紫乃) (10:45-11:15)	
		ポスターセッション (12:00-13:30)				
		シンポジウム5 環境経営における環境 と経済の両立：理論と 実証 (13:30-15:30)	シンポジウム6 社会変革のためのス テークホルダー会議の 可能性～持続可能な交 通を事例として～ (13:30-15:30)		ポスター発表者は 2日目の15時までに ポスターを撤去して 下さい。	

一 般 講 演

(座長については交渉中ですので、変更する場合があります。)

第1日目(9月10日)午前

B会場(207番教室) 環境リスク(9:30~11:45)

座長 片谷教孝(桜美林大), 市ノ瀬慎一(福岡教育大学教育学部)

- 1B-01 9:30 森林土壌中におけるアルミニウム溶出が土壌微生物活性に与える影響
○國頭 恭, 磯村育子(信州大学理学部物質循環学科), 吉田清志(長野県中信農業試験場), 大塚重人(東京大学大学院農学生命科学研究科), 朴 虎東, 戸田任重(信州大学理学部物質循環学科), 長岡一成(中央農業総合研究センター), 佐伯和利(九州大学生物環境調節センター), 妹尾啓史(東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 1B-02 9:45 亜高山帯針葉樹林のシマガレ更新パターンに及ぼす環境ストレス
○市ノ瀬慎一(福岡教育大学教育学部)
- 1B-03 10:00 亜高山帯土壌抽出液(H₂O)の吸光度特性と立ち枯れに関する研究
○川村 智, 本橋 章(東京電機大学理工学部)
- 1B-04 10:15 水田土壌における微生物への重金属の毒性影響:酸揮発性硫化物と同時抽出金属を用いた評価
○戸谷仁美(信州大学大学院工学系研究科), 國頭 恭(信州大学理学部物質循環学科), 石川祐一(秋田県立大学生物資源科学部), 朴 虎東, 戸田任重(信州大学理学部物質循環学科), 佐伯和利(九州大学生物環境調節センター), 相川良雄(三菱マテリアル), 松本 聡(秋田県立大学生物資源科学部)
- 1B-05 10:30 分布型マルチメディアモデルを用いた淀川流域圏におけるダイオキシン類の動態解析
○大久保崇, 加賀昭和, 近藤 明, 井上義雄(大阪大学大学院)
- 1B-06 10:45 農業生産にともなう農薬使用の環境リスクに関する二指標の比較分析
○佐藤正衛(中央農業総合研究センター), 南石晃明(九州大学大学院)
- 1B-07 11:00 全球規模マルチメディアモデルを用いた過去に日本で使用された農薬に関する非定常評価
○西森基貴(農業環境技術研究所), 魏 永芬(岐阜大学流域圏科学研究センター), 小原裕三(農業環境技術研究所)
- 1B-08 11:15 地域別の大気汚染物質推計のための分析
○佐伯 真, 島崎洋一(山梨大・院・医工), 片谷教孝(桜美林大)
- 1B-09 11:30 数理モデルを用いた山梨県の環境リスク評価
○小沢 恵, 豊木博泰(山梨大・院・医工), 片谷教孝(桜美林大)

C会場(208番教室) 環境動態(9:30~11:30)

座長 石橋康弘(長崎総合科学大学), 鶴見 實(弘前大学大学院理工学研究科)

- 1C-01 9:30 スプレーノズルによる農薬散布時に生成する微小粒子の展着剤による特性評価
○小原裕三, 與語靖洋(農業環境技術研究所)
- 1C-02 9:45 豪雪地帯における融雪時の河川への水質影響
○横田久里子, 永淵 修(千葉科大・危機管理), 森 邦広(登山家), 鮎川和泰(鳥根大院・総理工)
- 1C-03 10:00 水温と流量を用いた山地渓流水の化学成分濃度予測式
○廣田 奨, 前川千佳, 鶴見 實(弘前大学大学院理工学研究科)
- 1C-04 10:15 山地渓流水の水質を予測するための流量解析-3タンクモデル法による青森県弘前市久渡寺沢水の解析
○中俣明子, 鶴見 實(弘前大学大学院理工学研究科)

- 1C-05 10:30 スクリーニングレベルリスク評価を目的とした Several Box 型 Multimedia Model の構築
○達脇浩平, 加賀昭和, 近藤 明, 井上義雄 (大阪大学大学院工学研究科), 川島元樹 (DOWA ホールディングス), 戸部達也 (日水コン)
- 1C-06 10:45 太陽光と光触媒シートを利用した簡易な汚染土壌浄化
○桐谷久恵, 砂田香矢乃, 磯和俊男, 横山邦雄 (東大先端研), 橋本和仁 (東大先端研・東大院工)
- 1C-07 11:00 電解機能水の腐食寄与及び殺菌効果の評価
○中道隆広 (長崎総合科学大学院), 甲斐穂高 (長崎大学大学院), 篠原孝弘 (ステラ環境科学), 酒井 篤, 石橋康弘 (長崎総合科学大学)
- 1C-08 11:15 食品系廃棄物の嫌気性水素発酵におけるマイクロフロー解析
○土肥哲哉 (西原環境テクノロジー, 東京大学大学院農学生命科学研究科), 松本寿美 (西原環境テクノロジー), 皆川秀夫 (北里大学獣医学部), 阿部 淳, 森田茂紀 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 1C-09 11:30 (論文賞受賞記念講演)
フタル酸ジ (2-エチルヘキシル) のヒト健康リスクの評価
○手口直美・神子尚子・吉田喜久雄 ((独) 産業技術総合研究所)

D 会場 (大講義室) 地球環境問題・国際関係 (9:30 ~ 11:30)

座長 新藤純子 (農環研), 馬奈木俊介 (横浜国立大学)

- 1D-01 9:30 休耕田を利用したインドネシアにおけるバイオ燃料生産
○河内 惇, 岩出卓也 (東京大院農), 新藤純子, 岡本勝男 (農環研), 川島博之 (東京大院農)
- 1D-02 9:45 海洋生物資源管理における生態系アプローチ適用の国際比較: 日本の水産外交に照らして
○大久保彩子 (海洋政策研究財団)
- 1D-03 10:00 Analysis of International Emissions Trading Considering Worldwide Participation Using a Multi-Agent Simulation Model
○松本健一 (関西学院大学総合政策学部・日本学術振興会特別研究員)
- 1D-04 10:15 Sectoral Structures of Export to Major Trade Partners in Asia and the Pacific and its Carbon Implications of Korea in 1990s
○金 郷民, 金子慎治, 市橋 勝 (広島大学)
- 1D-05 10:30 京都議定書第1約束期間後の国際枠組みにおける適応策の位置づけ
○久保田泉 (環境研・社会環境システム研究領域)
- 1D-06 10:45 地域環境分析に向けた都道府県別 CO₂ 排出量の推計
○長谷川良二 (神戸大学大学院経済学研究科, 日本学術振興会特別研究員)
- 1D-07 11:00 Environmental Performance Index and Kuznets Curve in India
○田中健太, 馬奈木俊介 (横浜国立大学), プラディオット ジェナ (National Institute of Technology Rourkela)
- 1D-08 11:15 エネルギー価格が技術進歩に与える影響の分析
○馬奈木俊介 (横浜国立大学), スレンダー・クマー (TERI 大学), 田中健太, 鶴見哲也 (横浜国立大学)
- 1D-09 11:30 (論文賞受賞記念講演)
環境マネジメントシステムの導入が生産性に与える影響
○中野牧子 (名古屋学院大学経済学部), 馬奈木俊介 (横浜国立大学大学院)

第1日目(9月10日)午後

A会場(2F多目的ホール) 環境情報(13:00~14:00)

座長 田崎智宏((独)国立環境研究所)

- 1A-01 13:00 コンジョイント分析によるオンラインショップ上の商品の環境情報表示の検討
○韓 英珍(九州大学芸術工学府), 近藤加代子(九州大学芸術工学研究院)
- 1A-02 13:15 サステナビリティ学のオントロジー構築とその応用に向けた予備的研究
○齋藤 修, 松井孝典(大阪大学大学院工学研究科), 熊澤輝一, 上須道徳(大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構), 溝口理一郎(大阪大学産業科学研究所)
- 1A-03 13:30 諸外国における持続可能な発展の指標の策定状況と今後の課題
○田崎智宏, 亀山康子, 橋本征二, 森口祐一, 原沢英夫((独)国立環境研究所)
- 1A-04 13:45 山梨県における森林資源量の未来予測
○内藤昌宏(山梨大学医学工学総合教育部)

B会場(207番教室) 市民活動(13:00~14:00)

座長 乙間末廣(北九州市大・国際環境工学研究科)

- 1B-10 13:00 ボランティア活動の種類による参加決定要因の違いーボランティア機会理論の応用ー
○森 保文((独)国立環境研究所), 森 賢三(インテージ), 犬塚裕雅(NPO法人CoCoT), 前田恭伸(静岡大学) 浅野敏久(広島大学), 杉浦正吾(ProjectECO II)
- 1B-11 13:15 コミュニティにおける「地域環境力」の構造化に関する研究
○福島 緑(北九州市大院・国際環境工), 松本 亨(北九州市大・国際環境工)
- 1B-12 13:30 受け手評価をふまえた化学物質別のリスクメッセージ作成
○窪田ひろみ((財)電中研・環境科学研究所), 小杉素子((財)電中研・社会経済研究所), 千田恭子((財)電中研・システム技術研究所), 土屋智子((財)電中研・社会経済研究所)
- 1B-13 13:45 多様な利害関係者による参加型の地域(県)協議会の試みと評価
○管 頌霞(長崎大学大学院生産科学研究科), 早瀬隆司(長崎大学大学院環境科学部)

第2日目(9月11日)午前

B会場(207番教室) 生態系保全(9:00~10:15)

座長 亀屋隆志(横浜国立大学), 早瀬隆司(長崎大学環境科学部)

- 2B-01 9:00 流域に関する関心事調査ー環境への関心と保全行動への意向ー
○林 直樹(総合地球環境学研究所), 吉岡崇仁(地球研・現京大フィールド研)
- 2B-02 9:15 森林伐採計画案に対する評価とその規定要因
○松川太一(総合地球環境学研究所), 吉岡崇仁(総合地球環境学研究所・現京都大学), 林 直樹(総合地球環境学研究所), 永田素彦(現京都大学・三重大学)
- 2B-03 9:30 身近な環境問題に関する自由回答からみた流域の特徴
○松村綾子, 林 直樹, 松川太一(総合地球環境学研究所), 吉岡崇仁(地球研・現京都大学)
- 2B-04 9:45 森林機能の環境評価とステークホルダーの価値構造について
○野本幸治(長崎大学生産科学研究科), 姫野順一(長崎大学環境科学部)
- 2B-05 10:00 日本で使用される農薬の水域への流出による潜在的影響と代替化による効果
○馬場正裕, 中村 淳, 亀屋隆志, 小林 剛(横浜国立大学)
- 2B-06 10:15 (奨励賞受賞記念講演)
内分泌かく乱化学物質の魚類影響評価法の開発に関する研究
○関 雅範((財)化学物質評価研究機構)

C 会場 (208 番教室) 環境計画・評価 (9:00 ~ 11:00)

座長 松村寛一郎 (関西学院大学), 一ノ瀬俊明 (国環研)

- 2C-01 9:00 環境情報の提供による交通利用での消費者行動分析
○端谷隆文, 植田秀文, 中澤克仁 (富士通 (株)), 高岡美佳 (立教大学)
- 2C-02 9:15 西暦 2100 年までの世界各国土地利用変化
○松村寛一郎 (関西学院大学), 杉本賢二 (東京大学新領域創成科学研究科), Wenbin Wu, 柴崎亮介 (東京大学空間情報科学研究センター)
- 2C-03 9:30 経済モデルによる全世界土地利用変化予測
○木下嗣基, 山形与志樹 (国立環境研究所)
- 2C-04 9:45 有機溶剤使用実験における PRTR 大気排出量の算出
○江見清次郎 (北海道大学大学院工学研究科), 宮北貴志 (北海道大学環境保全センター)
- 2C-05 10:00 PRTR 対象物質の届出事業所からの排出による河川への潜在的影響の解析
○中村 淳, 亀屋隆志, 浦野紘平 (横浜国立大学大学院)
- 2C-06 10:15 PRTR データを考慮した生産性の時系列分析
- 化学製品, 自動車, 非鉄金属, 一般機械製造業の比較 -
○藤井秀道, 金子慎治, 金原達夫 (広島大学), 川原博満 ((株) 環境計画研究所)
- 2C-07 10:30 集合住宅への分散型エネルギーシステム導入効果と実現可能性に関する考察
飯盛章太郎 (明電舎), ○三島知行, 松本 亨 (北九州市立大学), 韋 新東 (吉林建築工程学院)
- 2C-08 10:45 都市空間情報基盤不足地域における熱環境評価の試み
○一ノ瀬俊明 (国環研), 白木洋平 (千葉大院), 松本 太 (国環研), 盧 軍 (重慶大), 花木啓祐 (東大)

D 会場 (大講義室) 廃棄物・リサイクル (9:00 ~ 10:45)

座長 永田勝也 (早大), 武政剛弘 (長崎大学大学院),

- 2D-01 9:00 ライフサイクル評価によるプラスチックごみ処理システムの意味決定支援
○中谷 隼, 堤 浩貴, 平尾雅彦 (東京大学大学院工学系研究科)
- 2D-02 9:15 屋久島における木質ペレット生産のコスト試算
○佐瀨輝洋, 高梨啓和, 中島常憲, 大木 章, 甲斐敬美, 筒井俊雄 (鹿児島大学工学部), 寺岡行雄 (鹿児島大学農学部), 上村芳三 ((株) 鹿児島 TLO)
- 2D-03 9:30 電解機能水を用いた空調循環冷却水浄化システムの LCA 評価
○甲斐穂高 (長崎大学大学院), 石橋康弘, 竹本直道 (長崎総合科学大学), 有菌幸司 (熊本県立大学) 武政剛弘 (長崎大学大学院)
- 2D-04 9:45 自動車のライフサイクルにおける環境負荷低減に向けた検討
○安保 慧, 寺嶋和彰, 切川卓也, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)
- 2D-05 10:00 豊島廃棄物等処理事業の LCA 評価
永田勝也, 小野田弘士, 永井祐二, 切川卓也, ○西郷 諭, 吉住壮史 (早大)
- 2D-06 10:15 環境効用ポテンシャル評価手法の開発
二又裕文, ○兼子洋幸, 吉田貴奈, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)
- 2D-07 10:30 統合化指標 ELP を応用したライフスタイルアセスメントに関する検討
○中村太郎, 金子 正, 福岡亮美, 永井祐二, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)
- 2D-08 10:45 (奨励賞受賞記念講演)
環境・廃棄物試料の生物影響評価に関する研究
○毛利紫乃 (岡山大学廃棄物マネジメント研究センター)

企画シンポジウム

(現在調整中のものを含まず。)

シンポジウム 1 9月10日(月) A会場 9:30～12:00

学術賞受賞記念講演

環境アセスメント研究の新たな展開 ～持続可能な社会づくりの基礎～

オーガナイザー 原科幸彦(東京工業大学)

シンポジウム 2 9月10日(月) C会場 13:00～15:00

大学院改組と環境冠大学院のリストラクチャリング

オーガナイザー 内山弘美(東京大学空間情報科学研究センター)

シンポジウム 3 9月10日(月) D会場 13:00～15:00

合理的な不法投棄廃棄物処理のための政策的仕組み

オーガナイザー 片山新太(名古屋大学エコトピア科学研究所)

シンポジウム 4 9月11日(火) A会場 9:00～12:00

学術賞受賞記念講演

「人間—環境系の視点からの保健医学に関する研究」

オーガナイザー 佐藤 洋(東北大学大学院医学系研究科)

シンポジウム 5 9月11日(火) B会場 13:30～15:30

環境経営における環境と経済の両立：理論と実証

オーガナイザー 金原達夫(広島大学)

シンポジウム 6 9月11日(火) C会場 13:30～15:30

社会変革のためのステークホルダー会議の可能性

～持続可能な交通を事例として～

オーガナイザー 柳下正治(上智大学大学院地球環境学研究科)

ポスターセッション（一般）

掲示可能期間： 9月10日（月）9：00～9月11日（火）15：00

セッション： 9月10日（月）12：00～13：00

9月11日（火）12：00～13：30

1P01 種子発芽を指標とした水質測定の可能性に関する考察

○木村壮太郎・菰田綾佳（府立藤井寺高）、西野正雄・林 優樹（府立富田林高）、西野ゆり（府立長野高）、小松直登（府立東住吉高）、澤田采佳（府立西浦高）、松永直人（府立長野北高）、高倉弘士（立命館大・社・院）、宮本如奈（同志社大・文）、畠山有理（長崎大・薬）、畠山光弘（畠山獣医科）

1P02 住民運動にみる情報伝達に関する考察

○松永直人（府立長野北高）、高倉弘士（立命館大・社・院）、澤田采佳（府立西浦高）、小松直登（府立東住吉高）、林 優樹・西野正雄（府立富田林高）、菰田綾佳・木村壮太郎（府立藤井寺高）、西野ゆり（府立長野高）、宮本如奈（同志社大・文）、畠山有理（長崎大・薬）、畠山光弘（畠山獣医科）

1P03 産業廃棄物処理場新規拡張計画不許可に見る問題点

○澤田采佳（府立西浦高）、高倉弘士（立命館大・社・院）、小松直登（府立東住吉高）、林 優樹、西野正雄（府立富田林高）、菰田綾佳・木村壮太郎（府立藤井寺高）、松永直人（府立長野北高）、西野ゆり（府立長野高）、宮本如奈（同志社大・文）、畠山有理（長崎大・薬）、畠山光弘（畠山獣医科）

1P04 愛知万博シンガポール館生菜展示環境における問題点

○小松直登（府立東住吉高）、宮本如奈（同志社大・文）、澤田采佳（府立西浦高）、林 優樹、西野正雄（府立富田林高）、菰田綾佳・木村壮太郎（府立藤井寺高）、西野ゆり（府立長野高）、松永直人（府立長野北高）、高倉弘士（立命館大・社・院）、畠山有理（長崎大・薬）、畠山光弘（畠山獣医科）

1P05 回るすしの細菌環境に関する考察

○林 優樹、西野正雄（府立富田林高）、菰田綾佳、木村壮太郎（府立藤井寺高）、西野ゆり（府立長野高）、小松直登（府立東住吉高）、松永直人（府立長野北高）、澤田采佳（府立西浦高）、高倉弘士（立命館大・社・院）、宮本如奈（同志社大・文）、畠山有理（長崎大・薬）、畠山光弘（畠山獣医科）

1P06 大阪府プルセラ陰性犬飼育環境における問題点

○西野ゆり（府立長野高）、林 優樹・西野正雄（府立富田林高）、小松直登（府立東住吉高）、宮本如奈（同志社大・文）、澤田采佳（府立西浦高）、菰田綾佳、木村壮太郎（府立藤井寺高）、松永直人（府立長野北高）、高倉弘士（立命館大・社・院）、畠山有理（長崎大・薬）、畠山光弘（畠山獣医科）

1P07 光触媒を用いた地下水中低濃度6価クロムの除去

門野真弓、○佐伯和利（九州大学・生物環境調節センター）

1P08 有機系土壌汚染物質のオゾン処理に関する処理水温度の影響

○藤本 登（長崎大学教育学部）

1P09 農薬・POPsなどの環境動態を予測する全球規模マルチメディアモデルの開発：森林葉面積指数の影響評価

魏 永芬（岐阜大学流域圏科学研究センター）、西森基貴、小原裕三（農業環境技術研究所）、秋山 侃（岐阜大学流域圏科学研究センター）

- 1P10 東京湾を媒体とした熱循環による暑熱緩和効果に関する研究
鈴木一令 (八千代エンジニアリング), ○一ノ瀬俊明 (国環研), 鈴木高二朗 (港湾研), 清野聡子 (東大)
- 1P11 促進酸化処理法による気中揮発性有機化合物及び水中有機ハロゲン化合物の分解
○大下智也, 猶原 順 (岡山理科大学大学院理学研究科)